

北海道浮魚ニュース

平成 29(2017)年度 20 号

2017 年 9 月 22 日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

9 月 22 日に水産研究・教育機構より第 2 回太平洋スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので、概要をお知らせします。

なお、この予報は国及び太平洋側道県の水産研究機関が参画し、北海道区水産研究所がとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のサイトでご覧になれます。

水産研究・教育機構 (<http://www.fra.affrc.go.jp/>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」 (<http://abchan.fra.go.jp/>)

対象魚種と予測期間：スルメイカ，平成 29 年 10 月～12 月

対象海域：根室海峡～オホーツク海，道東太平洋，
津軽海峡～道南太平洋，常磐～三陸海域

注) 魚体の大きさは外套長で比較

●根室海峡～オホーツク海

(いか釣り、定置網、底びき網)

来遊量：前年並。

漁期・漁場：明瞭な主漁期が無いまま終了する。

魚体：前年並。

●道東太平洋海域 (いか釣り、底びき網)

来遊量：前年を下回る。

漁期・漁場：漁場は分散し、漁場形成される
期間は短くなる。

魚体：前年より大きい。

●津軽海峡～道南太平洋 (いか釣り、定置網)

来遊量：前年を下回る。

漁期・漁場：対象期間を通じて漁場となる。

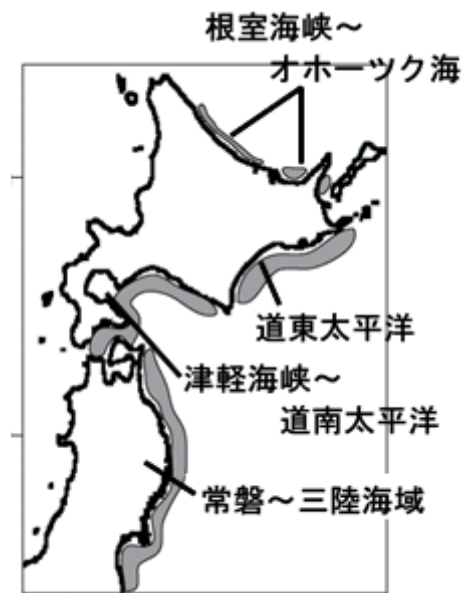
魚体：前半並。

●常磐～三陸海域 (いか釣り、底びき網、定置網、まき網)

来遊量：前年並。

漁期・漁場：予報期間を通じて漁場となる。

魚体：前年並。



8 月漁場一斉調査での分布密度は低く、道南～道東各港の漁獲もこれまで低調に推移していることから、全体的に漁獲量は前年に続いて低い水準に止まると予想されます。